

国土交通省出雲河川事務所からのお知らせ

【同時資料提供先】
島根県県政記者会、出雲市政記者クラブ

河川功労者の決定及び表彰について

公益社団法人日本河川協会(虫明功臣代表)による河川功労者表彰式が平成24年5月25日(金)に東京都千代田区の砂防会館で執り行われます。

中国地方整備局より推薦した個人・団体のうち河川の自然保護・環境学習・河川愛護等の活動に功績があった団体として、出雲市佐田町のNPO法人しまね体験活動支援センター(安田公臣代表)の表彰が決定しましたのでお知らせします。

当団体は10年間の長きに渡って、斐伊川・神戸川流域の小・中学校等の参加による河川環境調査結果を「斐伊川・神戸川流域環境マップ」に取りまとめ、広く地域住民に河川に対しての意識啓発を図られた功績が評価され、今回の受賞に至りました。

なお、団体の都合により表彰式当日は欠席されますが、後日出雲河川事務所を通じて表彰状が授与されることになっています。

受賞団体 : NPO法人 しまね体験活動支援センター
(安田公臣代表)

受賞理由 : 河川の自然保護・環境学習・河川愛護等の活動に
功績があった団体

活動内容 : 斐伊川・神戸川流域環境マップづくり

問合せ先

国土交通省中国地方整備局 出雲河川事務所
TEL 0853-21-1850(代表)
副所長(技術) 坂本 泰正 (内線)205
占用調整課長 犬山 典子 (内線)341



NPO法人しまね体験活動支援センター

斐伊川・神戸川流域の小・中学校が参加する「斐伊川・神戸川流域環境マップづくり」により、子ども達がふるさとを愛する心を育んだり、身近な環境問題に関心を抱いたり、そのことを流域の住民に情報発信することで河川環境の保全につながる取り組みをしています。

○第5回「斐伊川・神戸川流域環境マップづくり」成果発表会



出雲市立上津小学校



奥出雲町立高尾小学校



飯南町立赤名小学校



会場の様子

成果発表会では参加25校のうち小学校3校が河川環境調査や環境に対する日頃の取り組みを発表しました。

○河川環境調査の様子



出雲市立灘分小学校

水・川底・川辺の様子を春と秋の2回調査しました



出雲市立神戸川小学校

水生生物を調査しました

○指導者研修会



各学校の先生方を対象に指導者研修会も開催しています。

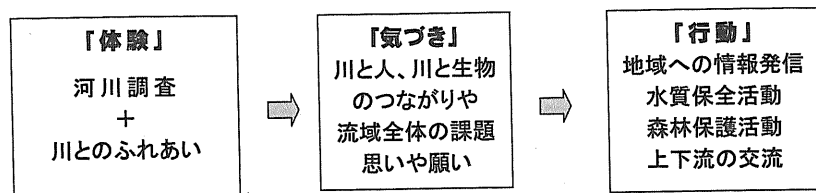


斐伊川・神戸川流域環境マップづくりの概要

◆ねらい

ふるさと学習を通じての「ふるさとを愛する人づくり」の一環として、また、流域全体の河川環境学習の一環として、2002年から神戸川を活用した「川の環境マップづくり」に取り組んできました。平成19(2007)年からは、斐伊川流域まで範囲を拡大して河川環境マップづくりを行いました。川での調査体験活動の取り組みと、そこから感じられた様々な気づきや地域環境への願いなどを子ども達が流域全体に情報発信していきます。

ふるさとを愛する人づくり・河川環境学習の推進



◆実施機関

主催：NPO 法人 しまね体験活動支援センター

主幹：斐伊川・神戸川流域圏小中学校（2市3町の小中学校等が対象（2011年度））

共催：島根県中山間地域研究センター

ひいかわ

◆斐伊川の概要

源流：島根県・鳥取県の県境船通山（^{せんつうざん}標高 1,142.5m） 延長：約 153km

流域は、上流から宍道湖に流入する斐伊川本線流域と、汽水湖である宍道湖の流域、中海の流域の3つに大別されます。斐伊川は典型的な砂河川で、全国でもまれな「天井川」として知られています。上流部では昔「たたら製鉄」が行われていました。宍道湖・中海については比較的浅く、また日本海との平均水位差が数cm～数10cmと小さいため、淡水と海水が入り混じった「汽水湖」で、西日本最大級の冬鳥の飛来地としても有名です。

かんどがわ

◆神戸川の概要

源流：飯石郡飯南町南端女亀山（^{めがめやま}標高 830m） 延長：約 82km

神戸川は流域の約80%が山地で『出雲国風土記』にも登場し、古来から親しまれています。現在斐伊川神戸川治水（合流）事業により飯南町には志津見ダムが完成、下流部出雲市では斐伊川放水路工事等が進められています。これにもない2006年8月1日からは神戸川は1級河川に指定され、斐伊川流域に編入されました。

◆参加校等（公民館含む）

飯南町 【小学校】 赤名、来島、頓原、志々

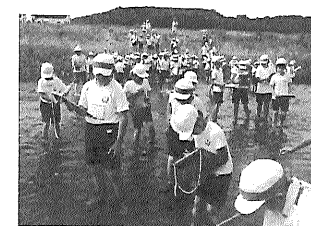
出雲市 【小学校】 上津、塩冶、神戸川、長浜、朝山、稗原、鱈淵、灘分、須佐、岐久、田儀
【中学校】 第三、南（悪天候のため実施できず）、佐田

雲南市 【小学校】 中野、吉田（悪天候のため実施できず）、吉田小学校民谷分校

奥出雲町 【小学校】 高尾、阿井、三沢、馬木 【公民館】 布勢公民館

◆内容

- ①調査期間を春と秋にそれぞれ約1ヶ月設けます。
- ②各学校付近で実際に川に入って、指標生物やゴミ、水質（pH、COD）などを調査します。
- ③指標生物を分析し、種類・数から水質判定します。（国土交通省・環境省の指標を採用）
- ④調査地点ごとに調査結果（指標生物数、感想、写真など）を、各学校からインターネットを使って島根県の運営するマップ on しまね～島根県統合型GISへのホームページに入力します。
- ⑤流域全体の河川環境マップが完成します。
⇒ホームページで公開しています。
マップ on しまね <http://web-gis.pref.shimane.lg.jp/>

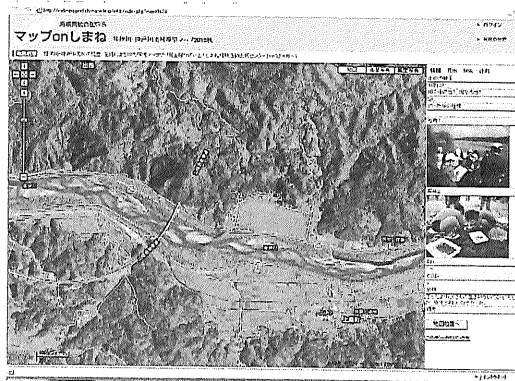



↑川に入って生物探し



↑水生昆虫識別中

トップページ>検索バー入力(斐伊川・神戸川流域環境マップ 2011)



(左) 各学校から入力された情報で完成した斐伊川・神戸川流域環境マップの画面。地図の  をクリックすると調査結果や感想、写真などを見ることができます。

※その他、源流や河口への見学、流域全体の水質調査、川のゴミ拾い、水質浄化の取り組みを冊子にまとめ配布する活動、ホテル調査やホテル学習、地域で河川調査の成果を発表する活動などを実施している学校や公民館もあります。

◆協力機関

国土交通省中国地方整備局出雲河川事務所、斐伊川・神戸川総合開発工事事務所、財団法人 河川環境管理財団、社団法人 中国建設弘済会、出雲市教育委員会、雲南市教育委員会、飯南町教育委員会、奥出雲町教育委員会、島根地理学会 他

◆これまでの活動

2002 年のから通算 22 回、のべ 10, 985 人も子どもたちが参加しました。

調査時期	参加校等	参加者	調査地点	調査期間	統一調査日	
H14	秋	29	1108	54	9/11~10/11	9/12
H15	春	18	985	34	5/26~ 6/20	6/ 5
	秋	28	1135	58	9/ 2~ 9/30	9/18
H16	春	24	810	48	6/ 1~ 6/30	6/ 9
	秋	13	396	29	9/ 1~ 9/30	9/ 9
H17	春	14	633	31	6/1~7/15	7/7
	秋	17	501	47	9/1~9/30	9/9
H18	春	12	261	16	6/6~7/7	6/12~6/16
	秋	11	379	17	9/4~10/4	9/11~9/15
H19	春	28	226	18	6/4~7/13	なし
	秋	14	400	13	9/3~10/5	なし
H20	春	17	386	29	5/27~7/18	なし
	秋	16	490	23	9/1~10/10	なし
H21	春	23	478	29	5/28~7/18	なし
	夏	5	75		7/19~8/31	なし
	秋	24	711	24	9/1~10/25	なし
H22	春	11	206	16	5月~7月	なし
	夏	9	189		7月~8月	なし
	秋	20	610	23	9月~11月	なし
H23	春	14	305	14	5月~7月	なし
	夏	9	140	9	7月~8月	なし
	秋	19	561	19	9月~11月	なし

◆主なできごと

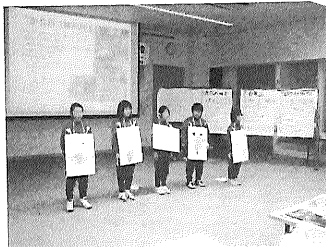
H14 (2002) 年度	<ul style="list-style-type: none"> 赤来町・頓原町・佐田町・出雲市・大社町の小中学校 29 校でスタート 9 月、Web-GIS の第 1 号プロジェクトとして第 1 回調査・マップへの入力を開始
H15 (2003) 年度	<ul style="list-style-type: none"> 神戸川流域環境学習推進協議会を設立 (財)河川環境管理財団の河川整備基金の助成を受ける 新たに多伎町・掛合町が加わり、計 33 校が参加 調査を春と秋の 2 回実施することを決定 横断幕、のぼりを作成し配布 2 月 21 日成果発表会(島根県中山間地域研究センター)



H16 (2004) 年度	<ul style="list-style-type: none"> (財)河川環境管理財団の河川整備基金の助成を受ける 8 月 7 日「水環境フェア 2004in 新潟」で中国地区の代表として発表 10 月 28 日「河川整備基金助成事業成果発表会」(東京)で発表 源流/河口ツアーやゴミ拾いなど流域での活動が活発になる 2 月 19 日成果発表会(島根県中山間地域研究センター)
H17 (2005) 年度	<ul style="list-style-type: none"> 旧飯南町立谷小学校、小田小学校が閉校 (財)河川環境管理財団の河川整備基金の助成を受ける (社)日本河川協会平成 17 年度通常総会において、河川功労者表彰を受ける 市町村合併により、出雲市・雲南市・飯南町の 3 市町となる 11 月 12 日源流ツアー&成果発表会を開催(飯南町 ふれあいホールみせん) 学校交流、源流・河口への見学、学校から離れたところの調査などが活発になる
H18 (2006) 年度	<ul style="list-style-type: none"> (財)河川環境管理財団の河川整備基金の助成を受ける 雲南市立吉田小学校が加わり、対象校は 32 校に 7 月 16 日~19 日にかけての大雨で神戸川が氾濫し、浸水被害などが発生 8 月 1 日 斐伊川流域への編入、神戸川は 1 級河川に 8 月 7, 8 日「水環境フェア 2006in 松江」開催 8 月 14 日~17 日「東アジア環境教育ミーティング」で神戸川を視察 2 月(財)日本河川環境管理財団発行の『水辺から学ぼう』第 5 号市民団体活動事例集に神戸川流域環境学習推進協議会の学校教育支援活動が 4 ページに渡って紹介され、全国に配布される
H19 (2007) 年度	<ul style="list-style-type: none"> 神戸川流域環境学習推進協議会などが母体となって 2007 年 2 月に設立された「NPO 法人 しまね体験活動支援センター」が事業の主催者となる (財)河川環境管理財団の河川整備基金の助成を受ける 神戸川の災害復旧工事が進行し川のにごりが続く 5 月 河川調査指導者研修会を斐伊川で開催 5 月 第 1 回斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを開始 スタート時 33 校参加 「平成 18 年度の神戸川流域マップづくり」が河川環境管理財団の『平成 19 年度河川整備基金助成事業優秀成果』に選定(採択件数 351 件の内 45 件) 11 月 23 日(祝)「第 1 回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会」を開催し 6 校が発表(出雲科学館) 国土交通省出雲河川事務所の「川の語りべ」候補者調査に協力
H20 (2008) 年度	<ul style="list-style-type: none"> (財)河川環境管理財団の河川整備基金の助成を受ける 5 月 河川調査指導者研修会を斐伊川(雲南市木次町)で開催 5 月 第 2 回斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを開始 スタート時 28 校と 1 公民館参加(公民館の参加は初) 11 月 「神戸川史」作成のため「未来に神戸川の歴史を伝える会」発足 11 月 22 日(土) 出雲科学館において「第 2 回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会」を開催し小学校 3 校、中学校 1 校、公民館 1 館が発表

H21 (2009) 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・(財)河川環境管理財団の河川整備基金、(財)しまね自然と環境財団のふれあい環境助成金の助成を受ける ・5月 河川調査指導者研修会を斐伊川(雲南市木次町)で開催 ・5月 第3回斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを開始(環境学習施設初参加) ・11月23日(月・祝) 出雲科学館において「第3回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会」を開催し小学校3校、中学校2校、環境学習施設1館が発表 ・2月22日 神戸川史作成協議会が未来に神戸川の歴史を伝える「神戸川史」を発刊し、その中で2ページを使って斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを紹介
H22 (2010) 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・(財)しまね自然と環境財団「ふれあい環境助成金」、社団法人中国建設弘済会「中国地方地域づくり等助成事業」、全労済「2010 年全労済地域貢献助成事業」の助成を受ける ・5月 河川調査指導者研修会を斐伊川(雲南市木次町)で開催 ・5月 第4回斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを開始 ・11月23日(火・祝) 出雲科学館において「第4回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会」を開催し、出雲市立岐久小学校、出雲市立鱒淵小学校、飯南町立来島小学校の3校が発表 ・11月末 島根日日新聞に成果発表会の様子が報道され、出雲ケーブルテレビでも放映される
H23 (2011) 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・(財)河川環境管理財団の河川整備基金、社団法人中国建設弘済会「中国地方地域づくり等助成事業」の助成を受ける ・5月 河川調査指導者研修会を斐伊川(雲南市木次町)で開催 ・5月 第5回斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを開始 ・6月 中国地方地域づくり等助成事業報告会(平成22年度実施事業)(広島市)で取り組みを発表 ・11月23日(水・祝) 出雲科学館において流域全体で取り組む河川環境保全活動「第5回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会」を開催し、出雲市立上津小学校、飯南町立赤名小学校、奥出雲町立高尾小学校、古志青少年育成協議会の3校と1団体が発表 ・11月末 島根日日新聞に成果発表会の様子が報道され、出雲ケーブルテレビでも発表の様子が放映される

2011年度成果発表会の様子



2011年度の活動

●春の指導者研修会(雲南市木次町斐伊川里熊大橋上流部) 5/24

主催者のNPO法人しまね体験活動支援センター事務局長からマップづくりの概要について説明を受けた後、国土交通省出雲河川事務所や専門家の皆さんに指導を受けながらpH・CODのパッケージ、水の透視度測定を体験しました。その後、斐伊川に入って石をひっくり返して水生昆虫を採集し、水生昆虫識別カードなどを使って種類ごとに分類し、水質判定の体験を行いました。



●春の調査 5月～7月

春の調査には、14校 305人が参加して調査を実施しました。はじめて参加する児童・生徒には新鮮な驚きがあり、2回目以上の児童・生徒にとっては以前との比較もでき、それぞれ発見がありました。

●河川環境マップづくり取り組みの発表 6月

社団法人中国建設弘済会から要請を受け、中国地方地域づくり等助成事業報告会(平成22年度実施事業)(会場:広島市)(参加10団体)で河川環境マップづくりの取り組みを発表しました。

●夏の調査

夏の調査には、8校と1公民館140人が参加して調査を実施しました。そのほとんどは1学期に2回実施した熱心な学校でした。

●秋の調査 9月～10月

秋の調査には、18校と1公民館561人が参加して調査を実施しました。また、源流や河口などを訪ねる活動も活発に行われました。

秋には各学校等で開催される学習発表会で、マップづくりの体験発表や河川環境を守ることについての重要性を、直接児童・生徒から学校や保護者・地域の皆さんに訴えることができました。

●2011年 斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会 開催 11/23

斐伊川・神戸川流域の出雲市、飯南町、奥出雲町の学校代表で小学校3校と、出雲市古志青少年育成協議会に発表していただきました。

会場では80人余りの関係者や地域住民がそれぞれの体験発表を熱心に聞きました。

【第5回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会発表校、発表団体】

飯南町立赤名小学校、出雲市立上津小学校、奥出雲町立高尾小学校
古志青少年育成協議会(出雲市立古志コミュニティセンター共催)

●2011年 斐伊川・神戸川流域環境マップづくり報告書の配布 2月

マップづくり報告書とA1サイズのマップを2月上旬に完成させて2月中には各学校、教育委員会、コミュニティセンター、公民館、環境学習施設、図書館等へ配布しました。

春夏秋の調査をあわせると、のべ1,006人が参加しました

通算すると子どものみで延べ10,985人の参加者

島根県統合型GIS

マップonしまね

斐伊川・神戸川流域環境マップ2011春

ログイン 凡例 利用の仕方

地図概要 斐伊川・神戸川流域の児童、生徒による川の環境マップ【主催：NPO法人しまね体験活動支援センター】(H23.6月1日～)



情報	凡例	検索	計測
地図	タイトル		
	飯南町立赤名小学校		
	住所		
	飯石郡飯南町下赤名/赤穴八幡下		
	調査年月日		
	平成23年6月8日		
	河川名		
	赤名川(神戸川)		
	天気		
	暗れ		
	気温		
	24度		
	水温		
	17度		
	川幅@m		
	5メートル		
	水深@cm		
	100cm		
	参加人数@人		
	赤名小4年生児童11人		
	調査実施団体名		
	赤名小学校4年生		
	一番多かった指標生物(指標生物名と数(匹))		
	ヤマトビケラ(9匹)		
	指標生物から判定する水のきれい度		
	きれいな水		
	その他水辺で見かけた生物(生物名と数(匹))		
	カワニナ(8匹)サワガニ(6匹)ヒラタカゲロウ(6匹)		
	水辺の様子		
	近く国道が通っている。田んぼがある。草が多い。		
	川の中のゴミ・川原のゴミ		
	川の中に空き缶やビンのかけらがある。川原には空き缶や長靴などの生活用品も捨てられていた。		
	釣った魚の種類		
	釣って来ないがゴッポがいた。		
	写真		

NPO法人(特定非営利活動法人)

しまね体験活動支援センター

子どもや環境のために役立ちたい人募集！

子ども達を健全に育てたい！ 環境問題に真剣に取り組まなければならない！

住みやすい社会を創りたい！ そんな皆さんと**いっしょに活動したい**と考えています！

どんな取り組みをするの？

- 人間形成に必要な自然体験・生活体験活動を中心にして、子ども達の自立を促進し、豊かな心や規範意識を創ります
- 親子体験教室などを通じて、親子の絆(きずな)をつくり家庭教育を支援します
- 体験型自然観察会、河川流域環境マップづくり、竹林問題啓発などを通じて環境問題解決への取り組みを行います



写真は「ホタル観察会」で解説する会員「斐伊川・神戸川流域環境マップづくり指導者(教員)研修

- PTAや学校・地域での体験活動の支援を行います
- 会員のボランティア活動で運営しています



写真は「竹の食器づくり体験」や「山野草をつんでてんぷら体験」で指導する会員

会」の様子

しまね体験活動支援センターの目的

広く住民に対して、子どもの健全育成、環境教育や環境保全活動の推進、社会教育の推進、学術・文化・芸術・スポーツの振興に関する事業を行うとともに、行政が行うこれらの活動の支援を行い、子ども達の健全な育成や住民の健康で文化的な生活の確保、公益の増進に寄与したいと考えています。

連絡先：NPO法人 しまね体験活動支援センター 事務局

〒693-0511 島根県出雲市佐田町八幡原 109 岩崎知久(ともひさ) TEL(携帯) 090-7132-9981

公益社団法人 日本河川協会「河川功労者」表彰規程

昭和46年10月1日決定
昭和48年11月6日改正
昭和52年3月1日改正
平成3年1月30日改正
平成10年1月22日改正
平成11年12月1日改正
平成15年11月6日改正
平成16年11月4日改正
平成22年5月14日改正
平成23年5月6日改正

(総 則)

第1条 公益社団法人日本河川協会定款第4条(9)に基づく表彰は、この規程の定めるところによる。

(表彰の対象)

第2条 表彰は、次条の各項に該当する場合に個人及び団体について行う。

(表彰の理由)

第3条 表彰は、次の各項に該当する場合に行う。

- 1 歴史、文化活動又は芸術活動等により河川文化の発展に寄与し功績があった場合。
- 2 河川の整備や管理に関連する諸活動を通じ、河川災害の防止、水資源の開発、河川環境の整備や保全、流域内の合意形成に関して功績があった場合。
- 3 水防活動、水害時の人命救助、防災体制の整備・充実又は災害の早期発見と迅速な情報伝達等に顕著な功績があった場合。
- 4 河川の自然保護・環境学習・河川愛護等の活動に功績があった場合。
- 5 河川や水に関する学術的研究又は技術開発に従事し、河川の整備・管理、利用等に役立つ成果をおさめた場合。
- 6 河川の利用を通じた産業の振興、地域の活性化等により新しい文化の創造に功績があった場合。
- 7 河川や水の分野において国際的に活躍した場合又はこの分野において日本との交流と連携を深めるために功績があった場合。
- 8 本会の発展に顕著な功績があった場合又はその他特に表彰を必要と認められた場合。

(表彰の推薦)

第4条 表彰は、前条に定めるところにより表彰に値すると認められるものについて、都道府県の河川協会等の長(河川関係団体の長を含む)、都道府県知事、国土交通省水管理・国土保全局長、地方整備局長、国土技術政策総合研究所長、公益社団法人日本河川協会会長、河川や水に係る公益団体の長、河川や水に係る学会の長、独立行政法人土木研究所理事長、独立行政法人水資源機構理事長、独立行政法人国際協力機構理事長及び社団法人国際建設技術協会会長の推薦により行うものとする。

2 前項の推薦は、別紙様式によるものとし、功績調書及び履歴書(団体にあっては団体

3. 第3項関係(水防活動等)

(1) 水防活動に功績があった場合とは、

- ① 多年にわたり当該地域の水防に従事し、非常出水に際し的確な水防作業を行い顕著な成果をあげ、また、水防思想の高揚、水防工法の普及等に活躍し功績があった団体。
- ② 水防団員として20年以上勤務し、かつ、この間水防団長、又は分団長の職に5年以上従事し、水防の発展及び水防活動に顕著な功績をあげ、水害防止の活動に功績があった個人。

(2) 水害時の人命救助等に功績があった場合とは、

非常出水に際し、危険をかえりみず身をていして人命救助、あるいは住民の身体財産の保護にあたり、顕著な成果をあげ、水害防止の活動に功績があった個人及び団体。

(3) 防災体制の整備・充実に功績があった場合とは、

災害発生時における避難、誘導を迅速かつ円滑に行うための連絡体制、扶助体制の整備・充実に努め、また、実際の災害時に被害の軽減に成果をあげた個人又は団体。

(4) 災害の早期発見と迅速な情報伝達に功績があった場合とは、

災害発生の危険を察知し、その情報を早期に提供したことにより被害を未然に防止又は被害の軽減に成果をあげた個人又は団体。

(5) 上記(1)(2)に該当する個人及び団体で、すでに次の表彰を受賞した場合は、除くものとする。

- イ. 防災功労者内閣総理大臣表彰
- ロ. 水防功労者国土交通大臣表彰

4. 第4項関係(河川の自然保護・河川愛護活動等)

河川の自然保護・河川愛護活動等を行い功績のあった場合とは、

- ① 多年にわたり、NPO活動等に積極的に参加して河川の自然観察・河川の自然保護をとおして河川の環境学習を指導した個人及び団体。
- ② 小・中・高校において、川をテーマにした総合学習を行い、河川に関する理解を深め、環境を保全するために功績があった個人又は団体。
- ③ 多年にわたり、河川清掃、除草、植栽、ホタルの復活、水質浄化等の河川愛護活動を実施し、功績があった個人及び団体。
- ④ 多年にわたり、河川に係わるスポーツ、イベント等を通じて親水活動の発展に功績があった個人及び団体。

5. 第5項関係(河川に関する研究等)

河川や水に関する研究等により、河川の整備・管理、利用等に役立つ成果をおさめた場合は、

- ① 河川に関する制度、地域参加の仕組み等の研究に成果をおさめた個人及び団体。
- ② 河川の防災並びに水利用に役立つ工法や技術開発の研究に成果をおさめた個人及び団体。
- ③ 自然生態系の保全・回復、水質の改善等河川環境の保全に役立つ研究・技術開発に成果をおさめた個人及び団体。
- ④ 河川工事における工法の技術開発、資機材の開発に成果をおさめた個人及び団体。